

5. 関連情報の提供

- ※ 令和3年度私立大学教員授業改善調査の中間まとめ
- ※ 令和3年度教育への情報化投資の実態

6. 参加者中42名からのアンケート回答から一部を紹介

- (1) 本会議は参考になったか、意見・感想
 - ・ 「参考になった」との記述が8割
 - ・ RPAの事例から「情報部門に頼らず各所で対応できるスキルアップ」の説明に刺激を受けた。
 - ・ 情報課投資額調査結果から客観的データで他大学との比較が参考になった。
 - ・ 改革に結びつけていく重要なヒントを見つけることができた。
 - ・ 他大学の優れた事例に圧倒されたが目指すべき課題が明確になった。
- (2) 来年度希望するテーマ
 - ・ DXの取組み(5件)
 - ・ 業務効率化ツール等の使用例
 - ・ アントレプレナーシップ教育の取組み状況
 - ・ 10年20年先を見通すために必要な情報
 - ・ IR、キャリア教育、学修成果の可視化など

[他3] 研究会等のビデオ・オンデマンド配信

大学教員のFD、職員のSDの貴重な資料として、教育方法及び教材開発、教育・学修支援の情報通信技術活用などの講演、事例紹介の著作権処理済みコンテンツをデジタルアーカイブしてデータベース化し、希望する会員に有料でオンデマンド配信している。

コンテンツの構成は、2020年度(令和2年度)のコンテンツ97件、2021年度(令和3年度)のコンテンツ109件、2022年度(令和4年度)のコンテンツ99件で、合計358件となっている。

配信分配金は、正会員の規模に応じて33,000円から55,000円、賛助会員は一律44,000円となっているが、2年目(2021年度)のコンテンツ10分の1、3年目(2020年度)のコンテンツは全て無料としている。利用人数は無制限で、参加申し込みはWebサイトで行っている。